

まちのうごき

(5月1日現在)	(4月中)	
世帯数 16,748世帯	生れた人 48人	
人口 52,649人	亡くなった人 22人	
男 25,856人	転入した人 580人	
女 26,793人	転出した人 405人	



子供たちの植樹を
見守る民秋市長(昨年)



不法投棄物を回収する職員

快適な生活環境

まず あなたの気配りから

環境週間行事多彩に

6月5日～6月11日

6月5日から11日までの1週間は「環境週間」です。快適な生活環境は、地球的規模で考えなければならぬこともあり、身近ですぐに手をつけられる事柄もあります。

市では、快適で住みよい生活環境を築くため、この期間中、多彩な行事を展開してまいります。

- ◎6月5日(木) 快適な生活環境を築くために日頃からの気配りが必要です。また、環境保全についての意識は、「現在の環境を守る」から「より良い環境を作る」へ変わりはじめてきています。そこで市では、6月5日から11日までの環境週間で、環境についての認識を深めていただくために環境週間プロジェクトチームとして次の行事を展開します。この機会に、もう一度私たちの身辺について考えてみましょう。
- ▼不法投棄パトロール 竹林やため池周辺を点検し、不法投棄物を回収します。
- ▼夜間自転車撤去 東向日自転車駐輪場の長期放置自転車を整理します。
- ◎6月6日(金) ▼花いっぱい運動 庁舎前で市長と保育所園児が環境保全を訴える風船あげをします。また花の苗、花の種をプレゼントします。
- ▼公園清掃 ガールスカウトが勝山公園の清掃を行います。
- ◎6月8日(日) ▼公園清掃 ボーイスカウトが西向日公園を清掃します。
- ◎6月9日(月) ▼ノーカーデー 庁舎周辺清掃
- ◎6月10日(火) ▼施設見学会

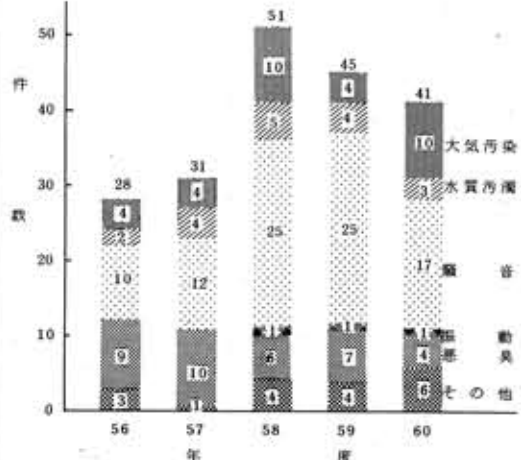
守ろう静穏 なくそう騒音

昭和56年度から60年度までの5か年間の公害苦情件数を見てみると、昭和56年度から次第に増加し58年度をピークに、その後減少してきています。

苦情件数の最も多かったのはどの年度も騒音に関するもので、この増減が全体の公害苦情件数を左右しています。

騒音の具体的な内容は、ピアノの音、クレーンの騒音、犬の鳴き声、車の空ぶかし音等身近な問題が多く個人が注意すれば防げるものばかりです。

静かな生活環境を望む人が多くなっている今日、隣り近所への小さな心配りの必要性が実感されます。一度、他人の立場で自分の家を見直されてはいかがでしょう。



公害苦情件数の推移

昭和56年度～60年度

募集 下水処理場の ゴミ焼却施設の見学会

市では、6月5日から始まる環境週間行事の一環として、下水処理場・ゴミ焼却施設の見学を行います。

1時出発

◎6月10日(火)午後

皆さんの参加をお願いします。

▼集合場所 市役所玄関前 午後零時45分

▼見学先 洛西浄化センター(長岡京市勝竜寺)

◎乙訓環境衛生組合(大山崎町下植野)

▼申込み期限 6月9日(月)まで

▼定員 先着30名 ※参加者に記念品贈呈

▼申込み・お問い合わせ 環境週間プロジェクトチーム 事務局 電話931-1111 内線234・235

住みよい生活環境 啓発標語さまる

「緑がいっぱい みんなで守る よい環境」

環境週間にまえに、「環境保全、公害防止、自然保護啓発標語」を募集してまいりましたが、このほど応募作品の審査が行われ、市長賞1点、入選3点、佳作3点が決まりました。

市長賞に選ばれた標語は「緑がいっぱい みんなで守る よい環境」です。

○入選 岡健三さん(寺戸町永田)松井幸枝さん(寺戸町芝山)植垣浩さん(上植野町御塔道)

○佳作 片岡みつ江さん(森本町石田)中村君子さん(上植野町野添)田村和夫さん(寺戸町大牧)

他の入賞者は次のような作品です。

環境週間は、住みよい生活環境や身近な自然を守り、育むことを目指す



あなたも騒音点検を

～生活騒音診断希望者募集～

あなたの家から出ている音がもしかしたら近所の迷惑になっているかもしれません。市ではあなたの家の騒音を診断して生活騒音の自主点検をお手伝いします。

- 診断の対象 ピアノ・オルガン・テレビ・ステレオカラオケ・クーラー・自動車・バイクの音等
- 資格 市内在住の方
- 申込み期間 6月2日(月)～30日(月) (土曜日の午後・日曜日は除く)
- 申込み・お問い合わせ 環境週間プロジェクトチーム 事務局 TEL.931-1111 内線234・235